

愛知県海部郡十四山村  
東蜆方言の比喩語について

太田 有多子

はじめに

- 1, 調査対象地：十四山村は愛知県西部に位置し、木曾川の三角州を干拓してできた新田で、標高-1.5m以下の輪中地帯である。戦前までは道幅が狭く、あらゆる運搬は舟にたよるしかなかった。昭和34年の伊勢湾台風後には土地改良、区画整理がなされ、現在は主産業の稲作の他、蔬菜・花卉栽培が盛んである。交通に関しては、名古屋市より20kmの近郊にありながら交通網には恵まれていない。平成2年10月現在の世帯数は1387戸、人口5783人である。
- 2, 調査年月日時：1992年 8月25日11時~12時  
11月23日10時~12時  
11月29日10時~12時半
- 3, 話者：阿部はぎ子 大正11年7月9日生(70歳)
- 4, 調査者・調査場所：太田有多子・話者宅の居間
- 5, 調査方法・調査時の様子：調査票に基づいて質問。1対1の面談も速いテンポで進み、話者の積極的な協力により調査票以外の語についても詳しい説明がなされた。

I (自然現象)

- 1 日照り雨 キ「ツネノヨメイリ(狐の嫁入り)<名> 中~老年層 盛 古 中  
・狐が嫁入りをする時に降る雨といわれているから。
- 2 入道雲 ユ「一ダチグ」モ(夕立雲)<名> 中~老年層 今も 中  
・夕立雨を降らせる雲だから。  
夕立雨が降らなければ「ド」ッカ「ニ」ゲタナ」という。
- 3 旋風 カ「ゼガ」マ「ウ(風が舞う)<句> 若~老年層 盛 今も 中  
・旋風の吹き方を舞を舞っている様子にたとえている。
- 4 霜柱 シ「モ」ガ「オ」リタ(霜が降りた)
- 5 つらら カ「ナゴ(鉄ゴ)<名> 老年層 古 中  
・つららが鉄(かね)のように堅いから。
- 6 北斗七星 フ「シャクガタ(柄杓形)<名> 中~老年層 盛 今も 中  
・星の配置がフシャク(柄杓)の形に似ているから。
- 7 昂 NR
- 8 流れ星 ホ「シガスベ」ル(星が滑る)<句> 中~老年層 盛 今も 中

- ホ「シガハシ」ル（星が走る）＜句＞ 中～老年層 今も 中  
 ・星の流れ方を「滑る」とか「走る」とか擬人化している。
- ◎ 蠍座（尾の部分の二星） ネ「コノメ（猫の目）＜名＞ 老年層 古 中  
 ・猫の目のようにチカチカとよく光るから。
- ◎ 虹 ナ「ベ」ジリ（鍋尻）＜名＞ 老年層 盛 古 中  
 ・鍋の形にたとえている。
- ◎ 日食 オ「テ」ントサマノオ「ワズレァー（お天道様のお恵い）＜句＞  
 老年層 盛 古 中  
 ・太陽が患って欠けたという発想から。

## II（動物）

- 9 かわはぎ カ「ワハギ
- 10 ひらめ オ「ヤネ」ラミ（親にらみ）＜名＞ 老年層 古 中  
 ・親がにらんでいるような顔つきだから。
- 11 蟷蛙 フ「クギャーロ（膨れ蛙）＜名＞ 若～老年層 今も 中  
 ・腹がフクライテイル（膨らんでいる）から。
- 12 青大将 ウ「チノヌ」シ（家の主）＜名＞ 中～老年層 盛 古 中  
 イ「エノヌ」シ（家の主）＜名＞ 中～老年層 古 中  
 ・青大将は家の屋根裏に潜んでおり、家の守り神だから。
- 13 とかげ ト「カケ
- 14 かまきり カ「マ」キリ
- 15 みずすまし マ「イマイギ」ッチョ（舞舞ギッチョ）＜名＞  
 若～老年層 今も 中  
 ・キリキリと舞回っているギッチョ（虫）だから。
- 16 きつつき キ「ツ」ツキ
- 17 せきれい NR
- 18 ふくろう 「フ」クロ
- ◎ なめくじ ウ「チ」ナシ（家無し）＜名＞ 中～老年層 盛 古 中  
 イ「エ」ナシ（家無し）＜名＞ 若～老年層 今も 上  
 ・蝸牛が家である殻を背負っているのに対して、なめくじが殻を背負っていないことから。
- ◎ 蛇 ク「チナワ（口縄）＜名＞ 老年層 盛 古 中  
 ・縄のように長いから。
- ◎ まむし ア「ズキグ」チナワ（小豆口縄）＜名＞ 老年層 古 中  
 ・小豆のような斑点があるから。
- ◎ 黒蛇 カ「ラスグ」チナワ（烏口縄）＜名＞ 老年層 古 中

・鳥色をしているから。

- ◎ 蛇の抜け殻 (ク「チナワノ」) ハ「カマ(口縄の)袴」<名>  
中～老年層 盛 今も 中

・脱ぎかけた皮のまわりつき方が袴に似ているから。

### Ⅲ《植物》

- 19 馬鈴薯 ジャ「ガタラ

- 20 とうもろこし コ「ーレア」イ

- 21 いんげん豆 ド「ジョマメ(泥鰌豆)」<名> 老年層 盛 古 中

・泥鰌の形に似ているから。

- 22 そら豆 ト「マメ

- 23 木くらげ キ「ク」ラゲ

- 24 げんのしょうこ 「ゲンノ」ショー

- 25 どくだみ ジ「ゴク」グサ

- 26 いたどり イ「タ」ゾ

- 27 からすうり カラス「モ」モ(烏桃)<名> 中～老年層 今も 中

・烏が食べる実といわれているから。

- 28 すみれ ス「モトリ」グサ(相撲取り草)<名> 老年層 稀 古 中

・この花の首同士を引っかけ、引っ張り合って、切れた方が負けという相撲取り遊びをしたから。

- 29 春蘭 NR

- 30 母子草 NR

- 31 ねむの木 NR

- ◎ きゅうり イ「タチ」ウリ(匏瓜)<名> 老年層 盛 古 中

・きゅうりが熟すと匏色(黄茶色)になるから。昔は太く、黄茶色になってから食した。

- ◎ 里芋 ジ「ーモ(地芋)」<名> 中～老年層 今も 中

・地の中で出来る芋だから。

- ◎ 粳米 タ「ダマイ(只米)」<名> 若～老年層 今も 中

・餅米に対して、ただの普通の米だから。

- ◎ 波布草 ネ「ムリ」ジャ(眠り茶)<名> 老年層 古 中

・夜になると葉が下がって、まるで寝ているようだから。

- ◎ アロエ イ「シャイラズ(医者いらず)」<名> 若～老年層 盛 古 中

・汁を飲んだり、傷口に貼ったりする薬草で、何にでも効くから。

- ◎ 彼岸花 シ「タマ」ガリ(舌曲がり)<名> 中～老年層 古 中

・触ったり、嘗めたりすると舌が曲がってしまうといわれているから。

- ◎ やへむぐら モ「ンツキ（紋付き）・モ「ンツキ」グサ（紋付き草）＜名＞  
老年層 盛 古 中  
・実に刺があり、着物などに付く。子どもの遊びの中で、着物に紋のように付けたことから。
- ◎ なずな ガ「ランガ」ラン（「でんでん太鼓」の方言語形）＜名＞  
中～老年層 盛 古 中  
・子どもの頃、支枝部分を裂いて、ガランガラン（でんでん太鼓）のように回して、音を出して遊んだから。
- カ「ンザシ」グサ（簪草）＜名＞ 中～老年層 稀 古 中  
・子どもの頃、支枝部分を裂いて、簪のようにして髪にさして遊んだから。
- ◎ かたばみ ツ「ル」クサ（蔓草）＜名＞ 若～老年層 今も 中  
・根が蔓のように延びるから。

#### IV（性向）

- 3 2 熱しやすく冷めやすい人 ア「キ」ショ（飽き性）
- 3 3 あわてん坊 ソ「ツッカシ」ー
- 3 4 動作の鈍い人 ノ「ロコ」イ・ニ「ブ」イ
- 3 5 嘘つき オ「マンガラ（お万空）＜名＞ 老年層 盛 古 下  
・一万個の話の中で本当のことがひとつもない、すべて空っぽの意から。  
セ「ンミ」ツ（千三つ）・オ「センミ」ツ（お千三つ）＜名＞  
老年層 稀 古 下  
・一千個の話の中で三つしか当たっていないの意から。
- 3 6 ほらふき オ「ープロ」シキ（大風呂敷）＜名＞ 若～老年層 盛 今も 下  
フ「ロシキ（風呂敷）＜名＞ 若～老年層 今も 下  
・話の大きさを風呂敷又は大きな風呂敷を広げた様子にたとえている。
- 3 7 おしゃべり ホ「ーソ」ーキョク（放送局）＜名＞ 若～老年層 今も 下  
・話がすぐ広まる放送局にたとえている。
- 3 8 冗談言い ジャ「ケラバッカ」イッ「ト」ル
- 3 9 口先だけの人 ジョ「ーズモ」ン（上手者）＜名＞  
若（少）～老年層 盛 今も 下  
・言葉を巧みに使うから。
- 4 0 とんちんかんなことを言う人 ト「ンデモネ」ーコトユーシ「ト」
- 4 1 のらりくらりと煮えきらない人 「グ」ズ・ド「グ」ズ
- 4 2 怒りっぽい人 「イ」ブリ
- 4 3 気むらな人 テ「リフリ（照り降り）＜名＞ 若～老年層 盛 今も 下

・陽が照ったかと思うと雨が降ったりする変わりやすい天候にたとえている。

テ「ンキ(天気)・オ「テ」ンキ(お天気)〈名〉

テ「ンキヤ(天気屋)・オ「テンキヤ(お天気屋)〈名〉

若～老年層 今も 中

・天気が変わりやすいことから。

4 4 泣き虫 ナ「キ」ムシ・オ「ナ」キ

4 5 おてんば娘 オ「トコマ」サリ(男勝り)〈名〉 若～老年層 今も 中

・男に勝ってしまうほどに元気がよいから。

4 6 腕白坊主 ヤ「ンチャボ」ーズ・ヤ「ンチャザ」カリ

4 7 出しゃばり 「マ」ンガチ(万勝ち)・マ「ンガチモン(万勝ち者)〈名〉

若(少)～老年層 盛 今も 下

「ド」マンガチ(ド万勝ち)〈名〉

若(少)～老年層 盛 今も 最下

・一万回とも勝っているかのように、すべてに自分の考えを出し通すから。

4 8 どこへでも顔を出す人 「デ」ベン(出陣)〈名〉 若～老年層 今も 下

・陣が出ていることにたとえている。

4 9 家にこもって外出しない人 「オ」クサマ(奥様)〈名〉 若～老年層 今も 中

・家の奥に引っ込んでいるから。

5 0 小心者 オ「クビョ」ー

5 1 内弁慶 ウ「チベ」ンケー(内弁慶)〈名〉 若～老年層 盛 今も 中

・弁慶は強い者のたとえ。外ではおとなしく、家の中でいばっていることから。

ネ「コカ」ブリ(猫被り)〈名〉 若～老年層 今も 中

・外ではおとなしい猫の皮を被っているだけだから。

5 2 人づきあいをしない人、社交性のない人 ヒ「トズキノワル」イシ「ト

5 3 妻に対して頭の上がない男 NR

但し、妻が強く、夫がおとなしい夫婦に対しては、

カ「カーデ」ンカ(カカー殿下)〈名〉 若～老年層 今も 下

・妻(カカー)の方に主導権があるので「殿下」と敬称をつけて、「あそここの夫婦はカカーデンカだ。」という。

5 4 けち エ「ラマツ」ド「エラ」マツ

5 5 欲張り ヨ「クフカバ」バ・ヨ「クフカジ」ジ

◎ 心配性で、早めに行動する人

ア「ワテコミ（慌て込み）＜名＞ 若～老年層 今も 中

・分かっていても心配性で、早目の行動をし、慌てているような行動になるため。

◎ 強情で、人の意に反することをする人

「ヒ」ネリ（捻り）＜名＞ 中～老年層 古 下

・性格が悪いことを「捻れている」にたとえている。

◎ 夜になってから、何かと動きまわって仕事をする人

「フ」クロノヨ「イダクミ（梟の宵工み）＜名＞ 老年層 古 中

・暗くなってから飛び回る梟のように、夜になってから仕事を始めるから。

◎ 威勢を張る カ「ラリ」キミ（空力み）＜名＞

若（少）～老年層 盛 今も 中

・力んでみせているだけだから。

## V（食生活）

5 6 大食漢 ク「レーヌケ（喰らい抜け）＜名＞ 老年層 稀 古 中

・食べ過ぎてお腹が抜け落ちてしまうという意から。

5 7 ぼたもち ト「ナリシ」ラズ（隣知らず）＜名＞

若（少）～老年層 盛 古 下

・餅はもち米を臼と杵でしっかり搗くので音がするが、ぼた餅は搗粉木を使うので音がせず、隣近所が知らないうちにできるから。

ハ「ンゴロシ（半殺し）＜名＞ 中～老年層 稀 古 下

・もち米を搗粉木で半分だけつぶして作るから。

5 8 砂糖味が薄い サ「ト」ヤガト「オ」イ（砂糖屋が遠い）＜句＞

若～老年層 盛 今も 中

・砂糖屋が近くになく、なかなか手に入らないため、砂糖が少ししか使われていないの意にたとえている。

ヒ「コ」ーキデト「ンダ（飛行機で飛んだ）＜句＞

老年層 古 中

・飛行機で買いに行くほどに砂糖屋が遠いの意にたとえている。

5 9 塩味が薄い ミ「ズクセア」ー（水臭い）＜形＞ 若～老年層 盛 古 中

ミ「ズガカ」ットル（水が勝っている）＜句＞ 老年層 古 中

・味が薄く、水っぽいことから。

6 0 大酒飲み 「カ」メ（亀）＜名＞ 中～老年層 今も 古 中

・亀を見つけたら、酒を飲ませて逃がさなければいけないという言い伝えがあり、亀が酒を飲むことから。

ド「ブガメ（溝亀）＜名＞ 中～老年層 今も 古 下

・溝に倒れ落ちるまで飲むの意で、カメよりももっと大酒飲みを指している。

6 1 酒に酔ってくだをまく 「シュ」ラン(酒乱)

6 2 酒に酔って顔が赤くなる、そのさま

シ「ト」リデ「ノ」ンダ(一人で飲んだ)〈句〉 若～老年層 盛 今も 中  
・まるで一人で酒を全部飲んでしまったかのような様子にたとえている。

◎ からい タ「マリガカ」ツトル(溜まり(醤油)が勝っている)〈句〉  
老年層 古 中

・醤油味のからさが勝っているの意から。

◎ まずい ア「ジネァー(味が無い)〈句〉 中～老年層 今も 古 中

・うま味がないの意から。

◎ 急いで食べること タ「テノミ(立て飲み)〈名〉 老年層 古 中

・立ったまま飲み込むようにして、急いで食べるから。

◎ 五目飯 カ「キマシ(かき回し)〈名〉 中～老年層 盛 古 中

・具と御飯を別々に作ってからかき混ぜるから。

◎ 雑炊 ヌ「タクリゾ」ースイ(めたくり雑炊)〈名〉 老年層 古 中

・田の中のぬかった状態(ヌタクリ)と同じだから。

ゾ「ースイ(炊き込み御飯)とは区別する。

#### VI (動作・様態)

6 3 恥ずかしくて顔が赤くなる、そのさま

マッ「カ」ニイ「ロ」ンダ(真っ赤に色んだ)〈句〉 若～老年層 今も 中  
・野菜や果物が赤く熟した様子にたとえている。

6 4 どしゃ降りの雨

ユ「ー」ダチ「ミ」タイナ「ア」メ(夕立雨みたいな雨)〈名〉  
若～老年層 今も 中

・夏季以外でのどしゃ降りの雨すべてを指している。

6 5 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま

オ「シャ」カサマ(お釈迦様)〈名〉 中～老年層 今も 中

・灌仏会でお釈迦様に甘茶を頭からかける。びしょ濡れになったその姿にたとえている。

6 6 服装がだらしないさま シ「ミ」タレ

6 7 髭がのび放題なさま ヒ「ゲ」ツラ・ヒ「ゲ」モジャ

・シミタレの一種

6 8 厚化粧をしている人

オ「シ」ロェバ「コ」エハ「ナ」ツ「イ」タ(白粉箱に鼻を突いた)〈句〉

- 老年層 盛 古 下
- ・白粉箱に直接顔をつっこんでつけたように真っ白だから。
- 69 背丈の高い人 「ウ」ドノタ「イボク（独活の大木）＜名＞
- 若～老年層 盛 今も 下
- ・独活（うど）の大きなものにたとえている。
- セ「ンダクザ」オ（洗濯竿）＜名＞ 若～老年層 今も 下
- ・洗濯竿が長いことから。
- 70 出びたい カ「サイ」ラズ（傘いらず）＜名＞ 老年層 古 下
- ・傘がいらないほど額が出ていて、鼻の頭に雨がかけられない。
- 71 汗がひたいから流れ落ちる ア「セダク（汗濯）＜名＞ 若～老年層 今も 中
- ・汗が洗濯水のように流れるから。
- 72 目を丸くする
- メ「ダマ」ン「デ」ルク「レーダ（目玉が出るくらいだ）＜句＞
- 中～老年層 稀 中
- 驚いた時の表現としては、他にカ「ラダカラ」ム「シガ「デ」ルク「レーダ（身体から虫が出るくらいだ）＜句＞ 中～老年層 盛 中 がある。
- 73 口をとがらす カ「オ」オ「ト」ンガラケート「ル（顔をとがらしている）＜句＞ 中～老年層 今も 中
- ・「口をとがらす」「目を三角にする」と同様に、鋭角なイメージにたとえている。
- 74 焦げ臭いにおい フ「スプリクセア」ー
- 75 遠廻り（をす）オ「ーマ」ーリ（大回り）＜名＞
- 若～老年層 盛 今も 中
- ・大きく回って来るから。
- 76 末っ子 ウ「ラナリ（末成り）＜名＞ 若～老年層 盛 今も 中
- ・野菜や果物の最後成りの実にととえている。
- 77 一生懸命頑張る ハ「ギ」シリ「カ」ンデヤ「ル（歯ぎしり噛んです）＜句＞
- 若～老年層 今も 中
- ・歯ぎしりするほどにふんばってする。
- ◎ 禿頭 ヤ「カンア」タマ（やかん頭）・「ヤ」カンサン（やかんさん）＜名＞
- 若～老年層 盛 今も 下
- ・丸いやかんにたとえている。
- ◎ 赤目 「メ」クサリ（目腐り）＜名＞ 中～老年層 盛 今も 中
- ・目が赤いのを腐っているのにたとえている。
- ◎ ふくらはぎ ツ「トハラ（苞腹）＜名＞ 若（少）～老年層 今も 中



・御飯や納豆を包んだ藁苞に似ているから。

◎ 正座する ヨ「メサナ」オリ（嫁さん直り）＜名＞ 老年層 古 中

・女の人が多くする座り方だから。

◎ 胡座をかく オ「トコナ」オリ（男直り）＜名＞ 中～老年層 今も 中

・男の人が多くする座り方だから。

◎ 瘦せた人 「カ」ンボ（「ががんぼ」の方言語形）＜名＞

中～老年層 今も 下

・細い虫であるががんぼ（大蚊）にたとえている。

ガ「タギ（「ばった」の方言語形）＜名＞

中～老年層 盛 今も 下

・ばったにたとえている。

◎ 倍になる 「オ」リニナル（折になる）＜句＞ 若～老年層 今も 中

・物を二つ折り、四つ折りにすると数が倍になることから。

お金に関する場合によく使うことばである。

◎ すばやく ト「タカミ」タカニ（取ったか見たかに）＜句＞

中～老年層 今も 中

・取ったかどうか、見たかどうかわからないほどすばやく、見た目にはわからないほど早くの意から。

#### まとめ

今回の調査では96点の表現が得られた。その中で、直喩はユーダチアメミタイナアメの1点、あと95点はすべて隠喩であった。隠喩の語構成をみると、単純語がカンボを始め9点、連語がキツネノヨメイリを始め9点、慣用句的なものがサトヤガトオイを始め17点、擬声語がガランガラン1点、派生語9点を含む合成語がユーダチグモを始め59点であった。造語上の特色としては、まず、身近な動物にたとえることが多く、色のたとえである烏・色（黒色）、鮑・色（黄茶色）も含めて、猫の目（蠍座）、泥鰌・豆（いんげん豆）、猫・被り（内弁慶）など12点あった。また、日用品にたとえているものも多く、鍋・尻（虹）、やかん・頭（禿頭）、紋付き（やへむぐら）、傘・いらず（出ひたい）など11点あった。自然現象に関しては、お天道様のお患い（日食）、星が滑る（流星）など擬人化することが多いようだ。数字が関わるのとして、オマン（万）ガラ、セン（千）ミツ（三）、マン（万）ガチなどがあるが、万や千でことの大きさを強調している。

今回収集できた比喩語の中には、カメ・ドブガメ（大酒飲み）やオシャカサマ（ずぶ濡れ）のように言い伝えや行事からくる意義転成語もあるが、全体的には事物、事柄そのものの形状、性質を説明するもの、その語から容易にイメージすることのできる比喩が多かった。

（おおたうたこ 福山女学園大学文学部）